

## 第14期 水彩・パステル科（4, 5月の活動報告）

1. 受講日：2026年4月6日
2. テーマ：水彩画の画材の説明
3. 講師：土方 吉久 先生（年間通してのご指導）

講師の先生やスタッフの紹介から始まり、14期生の講座がスタートした。今年度の受講生は25名で、3つの班に分かれて活動する。午前は「絵を描くうえでのポイント15条」と「画材全般」についての説明があった。初心者にとっては、とても嬉しい内容だった。講義後、それぞれ必要な画材を注文した。午後は、自己紹介や班・クラスの役割分担を決めた。いよいよスタート。初めての受講生にとってはドキドキしながらのスタートだったが、これからの活動が楽しみだ。

1. 受講日：2026年4月20日
2. テーマ：鉛筆デッサン（1）

午前は、鉛筆デッサンでの鉛筆の基本知識と扱い方について、詳しく教えていただいた。鉛筆は、基本的には寝かせて使い、正確に描くために対象との位置関係や明部と暗部のバランス・バックや台の余白を考慮することなど詳しく教えていただいた。午後は、各自で用意したモチーフを見てのデッサンで、先生が各テーブルを廻り、個別指導をしてくださった。受講生は先生の周りに集まり、良い描き方を見せていただいた。

1. 受講日： 2026年5月11日
2. テーマ： 鉛筆デッサン（2）

午前は、先生から「鉛筆デッサン」での明暗と形の捉え方についての講義を聞いた。午後の実技では、先生が各テーブルを廻り、各自直接指導をうけた。鉛筆を削って作った粉を手で広げて影を作ったり、消しゴムで部分的に消して白くコントラストをつけたり、木の枝が幹から出る3種類の描き方を示して下さったりして、受講生にとっては貴重な時間となった。



教室での授業風景

1. 受講日： 2026年5月18日
2. テーマ：水彩画の歴史（スライドを使つての講義）

水彩画の歴史について、スライドで西洋の作家の作品を見ながら、説明を聞き、1枚1枚の絵の特徴や作者の意図などを知ることができた。また、絵を描くうえで、「～ねば ならない」という考えは持たなくていいとのご指導があり、とても気が楽になった。

午後は、各自が用意したモチーフを見ての鉛筆デッサンの実技で、土方先生が1人について3分間、全受講生の絵を見て廻り丁寧に指導して下さった。その後は、次回の校外学習とふれあい交流祭についての説明などがあり、班毎にふれあい交流祭で、作品の展示以外にもゲームやステージ出演などするかどうかを話し合った。

1. 受講日： 5月25日
2. テーマ： 校外学習「ルノワール展」（山王美術館）の鑑賞



山王美術館の外観

京橋駅近くの山王美術館で「ルノワール展」を鑑賞した。ルノワールが活躍した当時の絵具や他の画材の説明、連作の『エディプス王』の物語の解説など大変興味深いものがあった。日本の画家の絵もあり、大いに楽しみ、目の保養とこれからの参考になった。

昼食は班ごとに決めた場所で取り、班のメンバーとの交流を深めることができた。初めての和気あいあいとした集まりで、楽しく過ごすことができた。

以上